

入野小学校 校長室だより

2016. 5. 20(金) No. 6 文責：芝

仲間と共有してきたこと

日曜日に6年生が修学旅行から帰ってきました。少し体調を崩した人がいたようですが、お天気には本当に恵まれ、6年生の旅行を通しての成長も感じられたとのこと。有意義な3日間だったことでしょう。

出発のときに話したのは、今年アメリカ大統領のオバマさんが“アメリカの現職大統領として初めて広島平和記念公園を訪れる”ということです。もしかしたら“将来教科書に載るかもしれない”ような出来事と、同じ年のほぼ同じ時期、同じ広島平和記念公園に行けたこの子たちはラッキーだと思います。

3日間の旅行を終え、日曜日の午後6時に学校へ到着した6年生、ガイドさんの話ではバスの中で「帰りたくない」と言う言葉も聞きながらの到着だったようですが、待っている家族の顔を見ると子どもたちの顔も明るくなったとか。仲間と3日連続で時間と空間のほぼ全てを共有した楽しくて貴重な経験でしたから、帰りたくないという気持ちは十分に分かります。ですが、そう思いながら、家族の顔を見てホッと安心した気持ちも十分に分かります。どちらも「本当の気持ち・正直な



気持ち」でしょうね。

ご紹介する写真の1枚目は私が「見たかったなあ」と思った「倉敷科学センター」の写真と、みんながずいぶん楽しんだらうなと思った「レオマワールド」の写真です。



上手に作業のお手伝い

昼休みの校庭、作業のお手伝いをしてくれる子どもたちがいました。熊手を使ったり、ネコ車（一輪車）を使ったり、スコップを使ったり…。校庭に入れるために置いていた土、2年近く経っても「山」だったのですが、おかげでずいぶん低くなり、「平地」に戻る日も近い感じ。手前の熊手を使っている女の子、上手に使っているのですが、聞くと熊手を使うのは「初めて」とのこと。ネコ車も、子どもたちはそんなに使った経験はないでしょうが上手です。『やらせてみるものだなあ』と感心しながら見たことでした。

